資料２

今後取組むべき課題・領域について

平成２７年2月１９日
地域資源戦略協議会事務局

前回議論・指摘された課題や検討項目(抜粋)

- 地域資源活用のボトルネック解消の検討
- 地域における産学官金の取り組みが必要
- ものづくり企業の高付加価値の製品開発と中小企業とのマッチング
- 地域の戦略や実情に合った重点テーマの支援が必要
- 国費を投入する研究開発は、共通性や雇用に結びつくことが必要
- 製造とサービスの融合
- 製造業のバリューチェーンシステムによる最適化
- モノづくり現場が必要とする生産システム構築のための機能検討
- 幅広い裾野で製造・生産に携わる人材育成を実施できる体制づくり
- ユーザーの持つ「心の消費」としてのニーズを抽出する方法論とそれを支援するシステムの開発
- サービスから利益を生み出すビジネスモデルや、顧客ニーズの探索手法や製品の付加価値向上を検討

今後の検討について

■ 検討の方向性

① 地域のものづくり企業を核としたイノベーション創生による産業の育成

② 新たなものづくりシステムによる産業競争力の強化